

平成 2 0 年 度

教育に関する事務の管理及び執行状況  
の点検・評価に関する報告書  
(平成 1 9 年度対象)

平成 2 1 年 2 月

帯 広 市 教 育 委 員 会

<参考>

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(平成 19 年 6 月 27 日改正)

(平成 20 年 4 月 1 日施行)

## 目 次

1	点検及び評価の概要	1
2	平成19年度教育委員会の活動状況の点検	2
3	第五期帯広市総合計画における教育関係政策・施策の体系図	7
4	第五期帯広市総合計画における教育関係政策・施策の点検及び評価	8
	生涯学習都市	8
	小・中学校教育	10
	高等学校教育	12
	生涯学習	14
	芸術・文化	16
	スポーツ	18
5	教育に関する学識経験者の意見	20

## 1 点検及び評価の概要

### (1) 点検及び評価について

教育基本法の改正を受けて、平成19年6月27日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年度から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

この点検及び評価は、教育委員会が教育行政事務に関し独立した執行権限を有する機関であることから、どのように事務が執行されているかを自らチェックし、市民にその状況を説明する必要があるとの目的で設けられたものです。

帯広市教育委員会では、これまでも第五期総合計画の政策・施策評価を行い、PDCAサイクルにより教育行政の一層の推進をはかってきました。

この点検及び評価を今後の施策・事業の取り組みに活用し、より一層の教育行政の推進を図っていきます。

### (2) 点検及び評価の対象

第五期帯広市総合計画の後期推進計画に盛り込まれている、平成19年度の学校教育部及び生涯学習部において実施した政策のほか、市長部局に委任している政策についてを点検及び評価の対象としています。

### (3) 方法

#### 点検及び評価の視点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、総合計画の政策・施策評価を活用し、課題等を踏まえた今後の取組の方向性を明らかにしています。

#### 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用をはかるため、学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただきます。

### (4) 次年度以降について

点検及び評価の手法等については、今後、他都市の事例等を参考に改善していきます。

## 2 平成19年度教育委員会の活動状況の点検

教育委員会会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び帯広市教育委員会会議規則に基づき、議会の同意を得た5人の教育委員が学校をはじめ社会教育、文化、スポーツなどに関する事務の管理及び執行の基本的な方針、教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件についての説明が行われた後、教育委員会委員の質疑、審議を経て、いずれも決定、了承されました。

また、教育委員会では、課題研究協議会を随時開催し、新たな教育を取り巻く課題等についての学習会や意見交換を行なったほか、研修会や学校へ訪問するなど、教育関係者や教育現場との意見交換、自己研鑽に努めています。

今後においても、教育を取り巻く課題等への対応など、十分な質疑や審議を行っていく必要があります。

そのため、日常的に事務局と施策・事業についての意見交換を行なうほか、学校や教育施設への訪問、研修会への参加、教育委員と市長部局との意見交換会の実施など、市長部局との連携強化を図りながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えています。

### (1) 帯広市教育委員名簿(平成19年度在籍)

役職	氏名	備考
委員長	船津龍之輔	
委員長職務代理者	平原 隆	
委員	田中 厚一	
委員	市之川敦子	平成19年6月23日就任
委員(教育長)	安達 伸	
前委員	北守 光子	平成19年6月22日退任

(2)教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
第4回 平成19年4月20日	報告第9号 報告第10号 その他	いじめ問題に対する取り組みについて 帯広市市民文芸誌編集委員の委嘱について (1)平成19年度全国学力・学習状況調査の実施について (2)今後の事業予定について
第5回 平成19年5月25日	報告第11号 報告第12号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 その他	(仮称)おびひろ学びプラン策定方針について (仮称)帯広市学校教育基本計画策定方針について 平成19年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市奨学生選考委員の委嘱について 帯広市教育研究所運営委員の委嘱について 帯広市学校給食共同調理場運営委員の委嘱について 帯広市スポーツ振興審議会委員の委嘱について 帯広市図書館協議会委員の解職及び委嘱について 教職員の処分内申について 帯広市就学指導委員会設置規則の一部改正について (1)帯広市社会教育委員の辞任について (2)東地区中学校適正配置の取り組み状況について (3)今後の事業予定について
第6回 平成19年6月22日	選挙執行(1) 選挙執行(2) 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 その他	帯広市教育委員会委員長の選挙について 帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙について 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について 教職員の処分内申について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 帯広市文化財審議会委員の委嘱について (1)高校間口減に関する対応について (2)東地区中学校適正配置実施(案)の地域説明状況について (3)帯広市議会6月定例会の報告について (4)今年度の大型事業の進捗状況について (5)学校支援を通じた地域の連帯感形成のための特別調査研究について (6)教師リーダー養成21世紀教師塾について (7)今後の事業予定について
第7回 平成19年7月26日	報告第13号 議案第37号 その他	教職員の処分について 帯広市社会教育委員の委嘱について (1)学校給食におけるミートホープ(株)製品の納入状況について (2)東地区中学校適正配置実施(案)の地域説明状況について (3)夢のある学校づくり支援事業の平成19年度選定結果について (4)学校支援を通じた地域の連帯感形成のための特別調査研究委託の取り組み状況について (5)非行問題への対応について (6)今後の事業予定について
第8回 平成19年9月11日	議案第38号 議案第39号 議案第40号  議案第41号 その他	平成18年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 平成19年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市立高等学校教育職員等の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正について 教職員の処分内申について 高等学校間口に係わるこれまでの経過と対応について
第9回(臨時会) 平成19年9月21日	報告第14号 議案第42号 議案第43号 議案第44号 その他	帯広市市民文芸誌応募結果について 帯広市東地区中学校適正配置実施計画について 平成19年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について 平成19年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定について 今後の事業予定について
第10回 平成19年10月23日	議案第45号 議案第46号  議案第47号 その他	教科用図書採択について 帯広市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程の制定について 平成19年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸佳作賞の決定について (1)(仮称)学校教育基本計画策定に係るアンケート調査の実施について (2)地域における冬季スポーツ振興モデル事業の実施について (3)平成19年度教育行政視察の実施について (4)いじめに関する臨時調査の結果と対応について (5)帯広市議会9月定例会の報告について (6)今後の事業予定について その他 ・市町村立学校職員の評価制度について ・北海道教職員組合からの時間外勤務手当請求に係る控訴審について

期日	番号	案件
第11回(臨時会) 平成19年11月12日	報告第15号 報告第16号	全国学力・学習状況調査の結果について 帯広市立西小学校における灯油漏洩事故について
第12回 平成19年11月21日	報告第17号 報告第18号 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号 その他	教職員の処分について とかちプラザ運営審議会委員の委嘱について 平成19年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市立高等学校学則の一部改正について 平成20年度帯広市立南商業高等学校の入学者募集について 全国学力・学習状況調査に係る公文書開示請求について (1)屋内スピードスケート場に係る取り組み状況について (2)今後の事業予定について
第13回(臨時会) 平成19年11月29日	議案第52号	帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正について
第14回 平成19年12月21日	報告第19号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 その他	平成20年度全国学力・学習状況調査の実施について 事務の臨時代理について 教職員の処分内申について 職員の処分について (1)帯広市議会12月定例会の報告について (2)今後の事業予定について
第1回 平成20年1月25日	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 その他	平成19年度帯広市教育実践表彰並びに帯広市文化活動奨励賞について 平成19年度2学期末までのいじめ問題に対する取り組みについて 帯広市立小中学校管理職評価の試行について 北海道帯広南商業高等学校開校五十年記念事業協賛会の設立について 帯広市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部改正について (1)「北海道冬季スポーツ振興モデル事業」の取組みについて(中間報告) (2)今後の事業予定について
第2回 平成20年2月19日	報告第5号 報告第6号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号  議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 その他	(仮称)帯広市学校教育基本計画基礎調査の結果について 平成20年度帯広市学校教育指導の重点について 平成19年度帯広市一般会計補正予算について 平成20年度帯広市教育行政執行方針について 平成20年度帯広市一般会計予算について 帯広市職員定数条例の一部改正について 帯広市高等学校定時制課程授業料の補助に関する条例を廃止する条例制定について 帯広市高等学校定時制課程授業料の補助に関する条例施行規則を廃止する規則制定について 教職員の人事内申について 教職員の処分内申について 帯広市立高等学校の授業料等徴収条例の一部改正について 帯広市民ギャラリー条例制定について 帯広市動物園条例の一部改正について 教職員の処分内申について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
第3回(臨時会) 平成20年3月26日	議案第20号	職員の人事について
第4回 平成20年3月28日	報告第7号 報告第8号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第21号 議案第22号 その他	教職員の処分について 教職員の処分について 帯広市教育委員会事務委任等規則の一部改正について 帯広市立学校管理規則の一部改正について 帯広市教育委員会規則の用語の整備に関する規則制定について 帯広市教育委員会訓令の用語の整備に関する規程制定について 帯広市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部改正について 帯広市動物園条例施行規則の一部改正について 事務の臨時代理について(職員の処分) 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について (1)帯広市議会3月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について その他 ・H19年度文部科学省学校支援事業に関するモデル事業の報告について

・教育委員会会議開催回数 15回  
議決案件 55件 うち非公開 28件  
報告案件 19件 うち非公開 8件  
その他 40件 うち非公開 1件

(3) 課題研究協議会開催状況

回数	開催日時	テ ー マ
1	平成19年4月20日	東地区中学校適正配置実施(案)について(その4)
2	平成19年4月27日	東地区中学校適正配置実施(案)について(その5) 「(仮称)おびひろ学びプラン」及び「(仮称)学校教育基本計画」の策定方針(素案)について 全国学力調査の実施結果について 帯広市教育研究所の活動状況について
3	平成19年6月22日	教育再生会議第二次報告について 帯広市食育推進計画(素案)について 子ども安全ネットワークについて
4	平成19年 9月21日	図書館の事業内容について 小中学校における指導相談体制について 全国学力調査への対応について
5	平成19年12月21日	帯広百年記念館の業務内容について 学校給食共同調理場の業務内容について
6	平成20年1月25日	生涯学習課の取組について (仮称)帯広市学校教育基本計画基礎調査について

・ 課題研究協議会開催回数 6回

(4) 研修会参加状況

日時	場所	研修会等	出席者
平成19年5月23日	幕別町	平成19年度十勝管内教育委員会連絡協議会定例総会	2名 船津委員長、安達教育長
平成19年8月28日～29日	小樽市	平成19年度北海道都市教育委員会定期総会	4名 船津委員長、平原委員、田中委員、安達教育長
平成19年10月24日	市内	平成19年度十勝管内市町村教育委員会新任教育委員研修会	2名 田中委員、市之川委員
平成19年11月26日～28日	京都市	平成19年度教育行政視察	3名 田中委員、市之川委員、安達教育長
平成19年12月4日	幕別町	平成19年度十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	3名 田中委員、市之川委員、安達教育長

5回 延べ14名参加



(5) 規則等の制定の状況

平成19年度に制定された教育委員会の規則は8件、訓令は2件であり、教育関係の条例は6件です。

規則

規則番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(19年) 第11号	帯広市就学指導委員会設置規則の一部を改正する規則	19. 5.25	19. 5.25
(20年) 第2号	帯広市高等学校定時制課程授業料の補助に関する条例施行規則を廃止する規則	20. 2.19	20. 4. 1
第3号	帯広市教育委員会事務委任等規則の一部を改正する規則	20. 3.28	20. 4. 1
第4号	帯広市立学校管理規則の一部を改正する規則	20. 3.28	20. 4. 1
第5号	帯広市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	20. 3.28	20. 4. 1
第6号	帯広市教育委員会規則の用語の整備に関する規則	20. 3.28	20. 3.28
第7号	帯広市立高等学校の授業料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則	20. 3.28	20. 4. 1
第8号	帯広市動物園条例施行規則の一部を改正する規則	20. 3.28	20. 4. 1

訓令

訓令番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(19年) 第7号	帯広市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程の制定について	19.10.23	19.11. 1
(20年) 第1号	帯広市教育委員会訓令の用語の整備に関する規程	20. 3.28	20. 3.28

条例

条例番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(19年) 第38号	帯広市立高等学校教育職員等の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	19.12.26	19.12.26
第44号	帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部を改正する条例	19.12.14	20. 4. 1
(20年) 第3号	帯広市高等学校定時制課程授業料の補助に関する条例を廃止する条例	20. 3. 7	20. 4. 1
第11号	帯広市民ギャラリー条例	20. 3.27	21. 3.20
第21号	帯広市立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	20. 3.27	20. 4. 1
第22号	帯広市動物園条例の一部を改正する条例	20. 3.27	20. 4. 1

(6) 計画等の策定の状況

期日	内 容
H19.9	東地区中学校適正配置実施計画の決定
H19.10 ~H19.12	(仮称)帯広市学校教育基本計画基礎調査(市民アンケート)の実施 小学5年生と保護者、中学2年生と保護者、一般市民 計3,000名抽出

### 3 第五期帯広市総合計画における教育関係政策・施策の体系図

まちづくり 目標(章)	政策(節)	施策	評価事務 事業数
生涯学習都市	小・中学校教育	1 教育内容の充実	5
		2 教育環境の整備	16
		3 社会変化に対応する教育の推進	5
		4 教育施設の整備	5
	高等学校教育	1 進学機会の確保・充実	4
		2 市立帯広南商業高等学校の充実	6
	生涯学習	1 生涯学習推進体制の整備	2
		2 生涯学習活動への支援	9
		3 青少年の健全育成	8
		4 男女共同参画社会づくり	4
		5 生涯学習施設の整備	11
	芸術・文化	1 自主的文化活動の促進	4
		2 鑑賞機会の拡充	1
		3 文化環境の充実	1
		4 歴史的遺産の保存・活用	3
	スポーツ	1 生涯スポーツ活動の推進	8
		2 競技スポーツの振興	4
		3 スポーツ施設の充実	3

## 第4章 生涯学習都市

### 基本的な考え方

市民が生涯にわたって自主的に学習できる総合的な環境づくりを行い、それぞれの価値観に応じて自己実現をはかりながら、生きがいをもって、豊かな生活を送れる地域社会づくりに取り組めます。

将来の地域の担い手である子どもたちが、個性をもって心豊かな人間性や、社会の中で生きる力を育むことができるように総合的な環境整備に取り組めます。




### 1. 各節(政策)の概況

各節(政策)の総合評価は、4つの節が「順調」、2つの節が「概ね順調」、1つの節が「やや遅れ」となっています。

少子化をはじめとするさまざまな社会環境の変化により、子どもたちを取り巻く環境は、大きく変わりつつあり、学校・家庭・地域・行政が連携して子どもを健やかに育てる環境づくりをすすめる必要があります。また、市民がさまざまな分野において、生涯にわたって自ら学ぶ意欲が高まっており、その成果を市民協働のまちづくりに活かしていくことが期待されています。

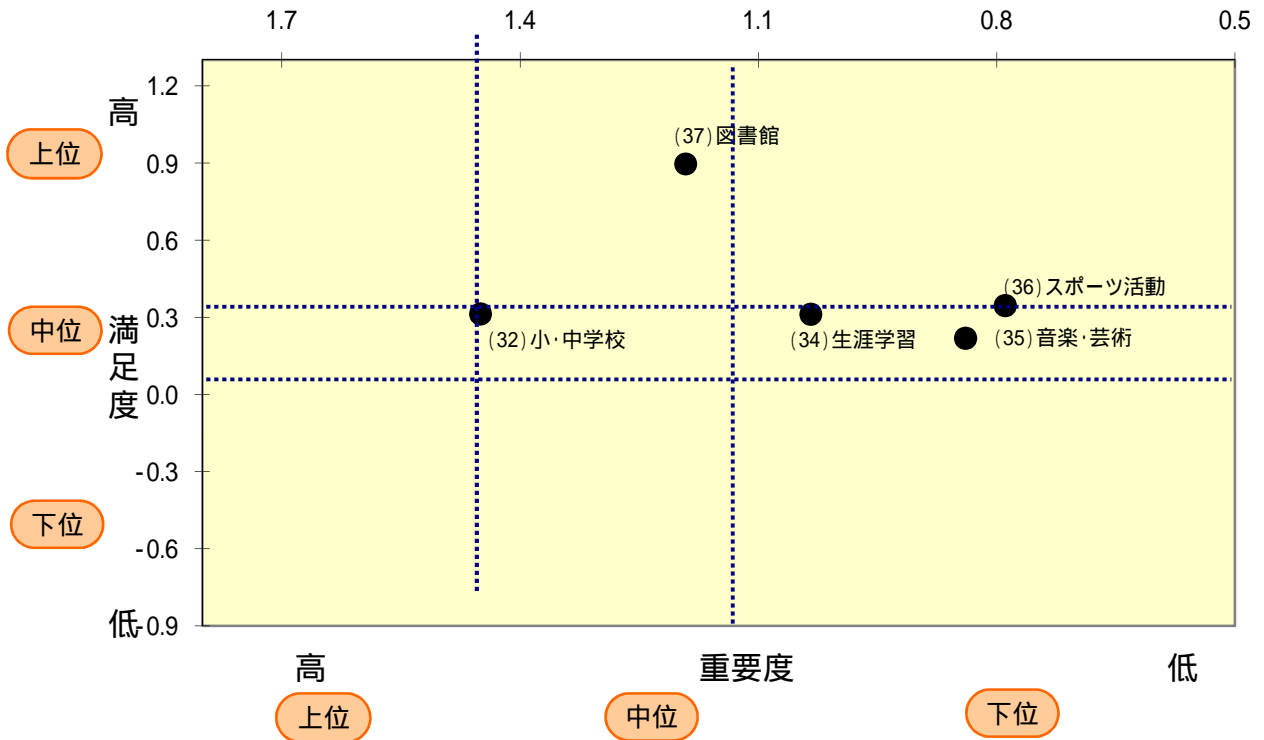
子どもたちの心豊かな人間性を育み、たくましく生きる力を身に付けさせるため、今後も引き続き学校・家庭・地域・行政が連携し、地域に開かれた特色のある学校づくりや、社会環境の変化に対応した教育環境の整備をすすめる必要があります。また、生涯学習や芸術・文化活動における市民の自主的活動の促進や、市民がスポーツに親しむことのできる環境づくりなど、より一層取り組みをすすめる必要があります。

各節(政策)の評価

政策名	評価 (平成19年度)	政策名	評価 (平成19年度)
小・中学校教育	 順調	生涯学習	 概ね順調
高等学校教育	 順調	芸術・文化	 順調
		スポーツ	 概ね順調

## 2. 市民意向調査結果(満足度・重要度の散布図) 【生涯学習都市】

まちづくりに関する50の調査項目のうち、【生涯




この図の満足度・重要度は加重平均によるものです。詳細は資料編(P2)をご覧ください。  
 ( )内の番号は市民意向調査の設問番号です。設問内容の詳細は資料編(P2)をご覧ください。  
 ..... は各項目の順位区分(上位、中位、下位)の仕切りを表しています。

## 第2節 小・中学校教育

### (基本方向)

学校、家庭、地域社会が連携して、心豊かでたくましい子どもの育成をはかります。

総合的な評価	
 順調	<p>成果を測る基本指標は、「児童生徒の基礎学力の定着度」「中学校図書館の生徒一人当たり貸出冊数」が前年と比べて上昇しております。また、「小学校図書館の児童一人当たりの貸出冊数」「学校給食1食当たりの残菜率」については前年と比べて下降しているものの、基準値より改善しています。</p> <p>市民意向調査（「小・中学校において充実した教育が受けられること」）では、満足度がやや上昇しており、教育内容の充実、教育施設の整備などの施策が順調に推進していることなどによるものと考えられます。</p> <p>施策の実施状況は、教育内容の充実など順調に推移しており、全体としても「順調」となっています。</p> <p>国際化、情報化、少子化の進行など、教育を取り巻く環境が大きく変化してきているなか、義務教育に対するニーズは多様化しており、次の世代を担う児童・生徒が、生きる力、自ら学び自ら考える力を育むため、知・徳・体をバランスよく育む学校教育をすすめることが重要です。</p> <p>今後は、学校と家庭、地域社会が一層連携をはかり、地域に開かれた特色ある学校づくり、学校施設の整備など、社会変化に対応した教育環境づくりが必要です。</p>



### (1) 政策の実施状況

#### 成果を測る基本指標

未達成	目標に近づいていない	目標に向かっていく	ほぼ達成	達成	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
児童生徒の基礎学力の定着度	観点	32/42 (H15)	30/42	35/42 (目標:上昇)	(目標:上昇)
小学校図書館の児童一人当たり貸出冊数	冊/年	8.98 (H16)	9.89	9.13 (目標:増加)	(目標:増加)
中学校図書館の生徒一人当たり貸出冊数	冊/年	1.34 (H16)	1.52	1.61 (目標:増加)	(目標:増加)
学校給食1食当たりの残菜量	g/食	96.5 (H15)	71.2	77.3 (目標:減少)	(目標:減少)

下降	やや下降	変化なし	やや上昇	上昇	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
「小学校・中学校において充実した教育が受けられること」の満足度	%	32.2 (H15調査)	36.3	38.2 (目標:上昇)	(目標:上昇)

#### 施策の実施状況

遅れ	やや遅れ	概ね順調	順調
施策名	評価	平成19年度の実績	
教育内容の充実		特色ある学校づくりに取り組む学校数（全小中学校）、学習用データベースの作成本数（1本）、生徒指導アドバイザーの配置校数（15校）、指導員・相談員の配置数（4人）	
教育環境の整備*		特色ある学校づくりに取り組む学校数（全小中学校）、身障者用トイレの設置（3校）、就学相談・指導の実施（185件）、教師の人材育成研修の参加人員（14人）、学校評議員設置校（全小中学校）、図書館活性化支援事業実施校数（小23校、中9校）、パソコン研修講座等開催回数等（35回）、病院内学級設置学校数（2校）、ふるさと給食実施日数（5日）、多目的教室等を活用した給食実施校数（4校）、新たな学校給食調理場の整備検討（1施設）	

社会変化に対応する教育の推進	✳	中学校英語指導外国人講師数(2人)、国際理解教育指導助手の小学校への派遣数(2人)、水辺の楽校実施校数(10校)、自然体験学習実施中学校数(15校)
教育施設の整備*	✳	地域開放学校数(30校)

市民協働の取り組み状況

教育環境の整備では、町内会、企業、地域による学校支援ボランティアによる協力や、学識経験者等の幅広い地域の人材を生かし、特色ある学校づくりや学校図書館の活性化支援事業など、市民協働の取り組みをすすめています。

また、学校評議員制度を活用し、市民の多様な意見を教育に反映する取り組みなど、開かれた学校づくりをすすめています。

(2) 今後の取り組み方向

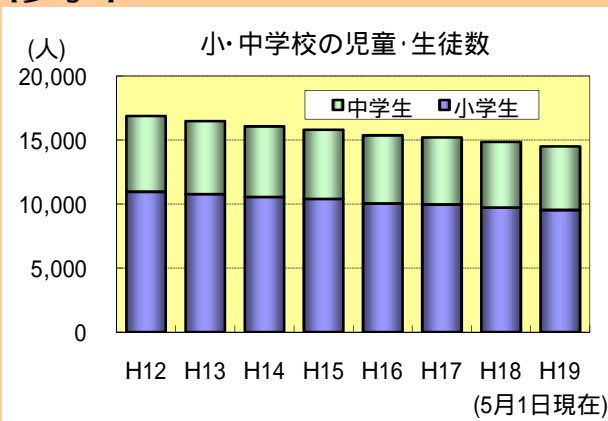
指導内容や指導方法の改善をすすめるとともに、いじめ・不登校などの問題に適切に対応できる信頼される学校づくりをすすめます。

また、学校評議員制度や夢のある学校づくり支援事業などを活かし、学校の自立や創意・工夫を一層支援するとともに、地域の教育資源や外国人講師などを積極的に活用し、帯広市ならではの体験を重視した教育を進めます。

学校施設においては、災害時の指定避難所でもある屋内体育館の耐震化や施設の老朽化対策をすすめます。

また、児童生徒の減少に伴い、適正規模を下回る学校が増加してきていることから、父母や地域の理解を得て、学校の適正配置への取り組みを順次すすめます。

【参考1】



資料:学校基本調査

【参考2】

< 市民意向調査(H20調査)による市民満足度・重要度等 >

前回(H19調査)との比較			市民意向調査50項目の相対順位									
項目	満足度	重要度										
小学校・中学校において充実した教育が受けられること	やや上昇	変化なし	<table border="1"> <tr> <td>上位</td> <td>重要度</td> <td>下位</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下位</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	上位	重要度	下位	満足度			下位		
上位	重要度	下位										
満足度												
下位												

【説明】

学校評議員制度

小中学校の運営に関して地域の住民等が、校長の求めに応じて意見を述べ、学校運営に役立てる制度です。

夢のある学校づくり支援事業

学校の活性化を促進することをねらいに、学校の創意工夫によって特色ある教育活動を行う取り組みに対して支援をする平成18年度から新たにスタートした帯広市独自の事業です。


水辺の楽校

## 第3節 高等学校教育

### (基本方向)

教育機会の充実をはかるとともに、地域社会との関わりを強め、個性ある人材の育成をすすめます。

### 総合的な評価



 順調	<p>「南商卒業生の就職決定率」では、これまで同様100%を維持し十分な成果をあげています。</p> <p>施策の実施状況は、南商業高等学校の情報処理教育やボランティア活動を通じて社会に貢献する人材育成のほか、私立高校への奨学支援等をすすめており、全体としても「順調」となっています。</p> <p>十勝管内の中学校卒業生数の減少に伴い、地域の実情に応じた高等学校の再編整備がすすめられており、引き続き、高等学校の間口の確保にむけた取り組みなど進学機会の確保・充実に努めるとともに、地域に貢献する人材育成をすすめていく必要があります。</p>
--	---

### (1) 政策の実施状況

#### 成果を測る基本指標

未達成	目標に近づいていない	目標に向かっていく	ほぼ達成	達成		
指標		単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
			1.075 (H16)	1.330	1.000 (1.100)	(1.100)
			100 (H15)	100	100 (目標:維持)	(目標:維持)

#### 施策の実施状況

遅れ	やや遅れ	概ね順調	順調
施策名	評価	平成19年度の実績	
進学機会の確保・充実		私立高校への整備費助成校数(2校)、私立高校生授業料補助奨学生生徒数(311人)、奨学資金貸付者数(6人)	
市立帯広南商業高等学校の充実*		パソコン教室の1週間あたり授業時間数(32時間)、外国人英語指導助手配置数(1人)、インターンシップ事業等協力事業者数(37事業者)、南商学校開放講座等数(5講座)、ボランティア活動クラブ数(1クラブ)	

#### 市民協働の取り組み状況

十勝管内における高等学校間口を確保するため、PTAや学校、行政等で構成する間口対策協議会を中心に取り組んでいます。

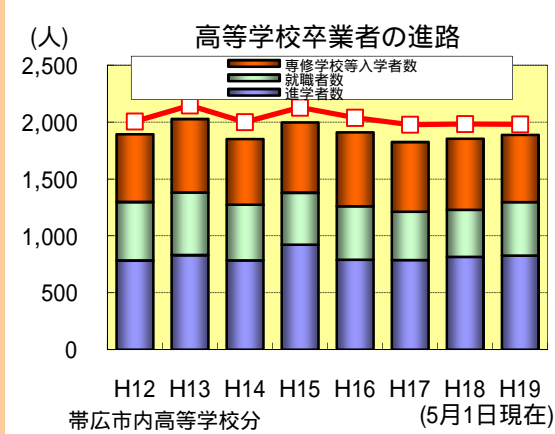
市立南商業高等学校におけるインターンシップ事業においては、地元企業の協力を得て、生徒の勤労観、職業観の醸成に取り組んでいます。

### (2) 今後の取り組み方向

市立南商業高等学校は、地域に貢献する職業人を養成するため、情報処理教育の充実や地域や社会と連携した実践的な教育活動の充実など特色ある高等学校教育を推進します。

高等学校への進学機会の確保のため、学校間口の確保及び奨学支援に継続して取り組みます。

【参考1】「高等学校教育」に関する統計資料は、資料編P25にも掲載しています。



資料: 学校基本調査

【説明】

インターンシップ


通常、学生が企業等において自らの専攻や将来の職業に関連した就業体験を行う制度をいいます。学校と企業との密接な協力によって行われ、学生にとってさまざまなメリットがあるばかりでなく、産業の活性化とそれに応える教育の改革などもねらいと



## 第5節 生涯学習

### (基本方向)

市民一人ひとりの生涯学習活動を奨励、支援するため、総合的な環境づくりをすすめます。  
次代を担う青少年を健全に育成する地域環境づくりをすすめます。  
社会の中で男女が対等な立場で活動する、男女共同参画社会づくりをめざします。

総合的な評価	
 概ね	<p>成果を測る基本指標は、「市民一人当たりの図書の貸出冊数」が上昇しているほか、市民大学講座受講者数や地域青少年育成フォーラム等の参加者数が大幅に増加しており、目標に向けて推移しています。</p> <p>施策の実施状況は、各種講座など学習機会の拡大をはかってきたほか、青少年の健全育成に関わる事業、施設や機能の充実に努めるなど概ね順調に推移しており、全体としては「概ね順調」となっています。</p> <p>生涯学習は、市民が生きがいのある豊かな人生を送り、まちづくりに参画するきっかけとなるものであり、より質の高い学習情報の提供や学習機会の充実・施設の整備をはかる必要があります。</p>






### (1) 政策の実施状況

#### 成果を測る基本指標

未達成	目標に近づいていない	目標に向かっていく	ほぼ達成	達成	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
生涯学習に参加している人の満足度	%	-	-	-	
少年非行人数(帯広警察署管内)	人	688 (H15)	955	1,127 (目標:減少)	(目標:減少)
審議会等への女性の登用割合	%	33.1 (H15)	32.2	31.5 (目標:上昇)	(目標:上昇)
市民一人当たりの図書の貸出冊数	冊/年	2.90 (H15)	5.01	5.11 (目標:上昇)	(目標:上昇)
市民大学講座開催(受講者数)【補助指標】	人	-	1,520	2,273 (目標:上昇)	(目標:上昇)
地域青少年健全育成フォーラム等開催(参加者数)【補助指標】	人	-	618	1,071 (目標:上昇)	(目標:上昇)

帯広市ほか7町村を含む

#### 施策の実施状況

遅れ	やや遅れ	概ね順調	順調
施策名	評価	平成19年度の実績	
生涯学習推進体制の整備		生涯学習フェスティバル事業件数(98件)、地区生涯学習推進委員会数(26地区)	
生涯学習活動への支援*		趣味・教養講座開催数(92講座)、市民大学の講座開催数(44集)、高齢者学級の開設数(2学級)、放送大学センター外視聴科目数(132科目)、家庭教育学級の開設数(17学級)、男女共同参画セミナー回数(1回)、動物園での各種講座開催数(21回)、図書館での各種講座開催数(140回)、児童会館での各種講座開催数(196回)、百年記念館での各種講座開催数(44回)、コミュニティ講座開催数(194講座)、地域わかば会数(9地区)、とかちプラザ団体交流室への登録団体数(63団体)、ホームページの情報提供項目数(6項目)、コーディネーターの養成数(16人)	
青少年の健全育成		家庭教育学級の開設数(17学級)、学校体育館開放実施校数(26校)、姉妹都市・松崎町への派遣人数(12人)、地域子ども会のリーダー宿泊研修コース数(4コース)、地域青少年健全育成フォーラム等開催地区数(25地区)、街頭指導実施日数(335日)、世代間交流事業数(7事業)	
男女共同参画社会づくり		男女共同参画セミナー回数(1回)、各種審議会の女性委員数(156人)、男女共同参画塾開催数(1コース)、男女共同参画推進員養成者数(11人)、すこやか親子教室実施回数(168回)	
生涯学習施設の整備*		蔵書の充実(391,238冊)、ボランティア活動部門数(6部門)、動物舎等整備数(1舎)	

### 市民協働の取り組み状況

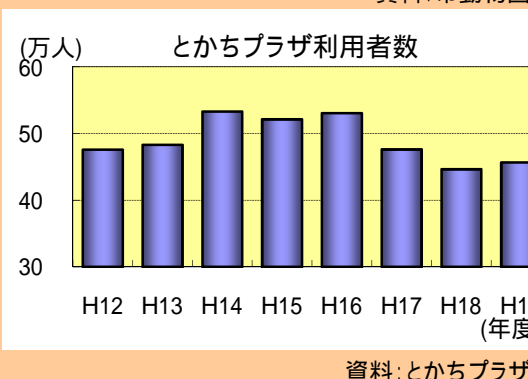
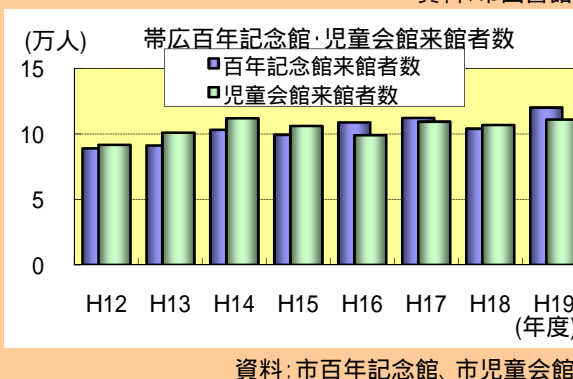
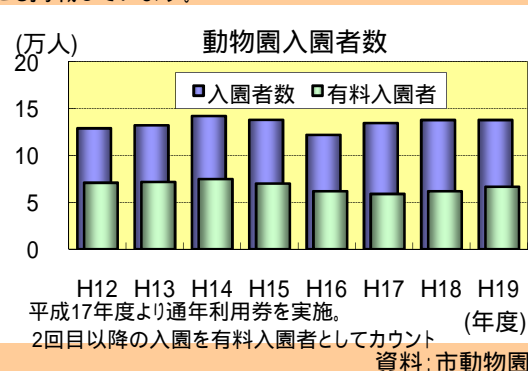
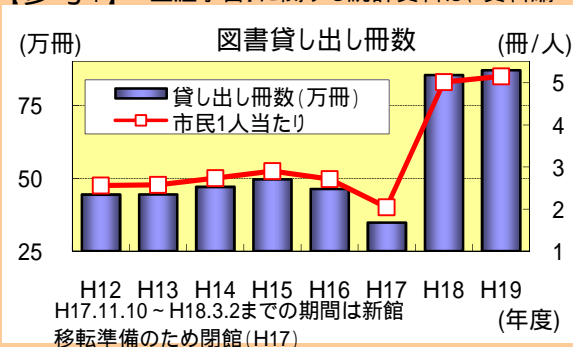
生涯学習活動は、生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座、市民主体の生涯学習フェスティバル、生涯学習施設での各種講座など、市民協働で事業推進に取り組んでいます。動物園では、ボランティアグループが、小動物とのふれあい体験やイベントの開催など、市民協働で取り組みをすすめています。青少年健全育成では、子ども会リーダー養成事業など青少年育成者連絡協議会と協働で事業を実施していますが、さらに関係団体等との連携強化が必要です。

### (2) 今後の取り組み方向

社会の要請と住民の多様な需要の双方に対応した学習機会の提供、学習施設の整備、住民の学習活動の支援をすすめます。

また、男女共同参画社会づくりを目指し、市民や事業者への啓発事業や各種審議会等への女性の参画促進、男女共同参画推進を担う市民・団体の育成支援をすすめます。

【参考1】「生涯学習」に関する統計資料は、資料編P26にも掲載しています。



### 【参考2】

< 市民意向調査 (H20調査) による市民満足度・重要度等 >

前回 (H19調査) との比較			市民意向調査50項目の相対順位	
項目	満足度	重要度	上位	下位
生涯を通して学習する機会があること (参考)	変化なし	上昇	満足度	重要度
図書館の蔵書や機能が充実し、いつでも利用できること (参考)	上昇	やや上昇	満足度	重要度


## 第6節 芸術・文化

### (基本方向)

芸術・文化が市民活動に溶け込み、市民自らの創造活動により開花する地域性豊かな文化を創造します。

地域にある貴重な歴史的文化遺産を保存し、郷土の歴史や文化を正しく理解する学習活動を促進します。

### 総合的な評価








 順調	<p>市民意向調査（「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること」）では、満足度は前年度と比べやや上昇しています。</p> <p>施策の実施状況は、文化・創作活動への支援や芸術鑑賞機会の提供など、活発な活動が展開されており、概ね順調に推移しており、全体としては「順調」となっています。</p> <p>市民の自主的文化活動を活発にし、個性ある地域文化を創造するためには、優れた人材の育成や情報の提供、多様な市民要望に対応した鑑賞機会の提供などの充実が必要です。今後も引き続き、文化団体や施設管理者と連携をはかり、感性豊かな担い手の育成や支援など、市民主体の取り組みを推進していく必要があります。</p>
--	---

### (1) 政策の実施状況

#### 成果を測る基本指標

下降	やや下降	変化なし	やや上昇	上昇	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること」の満足度	%	30.0 (H15調査)	33.8	35.6 (目標:上昇)	(目標:上昇)

#### 施策の実施状況

 遅れ	 やや遅れ	 概ね順調	 順調
施策名	評価	平成19年度の実績	
自主的文化活動の促進*		文化団体数(325団体)、市民の自主的文化事業(2事業)市民芸術祭等事業(2事業)ホームページで紹介する文化団体数(260団体)	
鑑賞機会の拡充		芸術文化鑑賞機会の提供(9件)	
文化環境の充実	-	-	
歴史的遺産の保存・活用		史跡標示板の設置(1箇所)、アイヌ古式舞踊の保存・伝承団体(1団体)	

#### 市民協働の取り組み状況

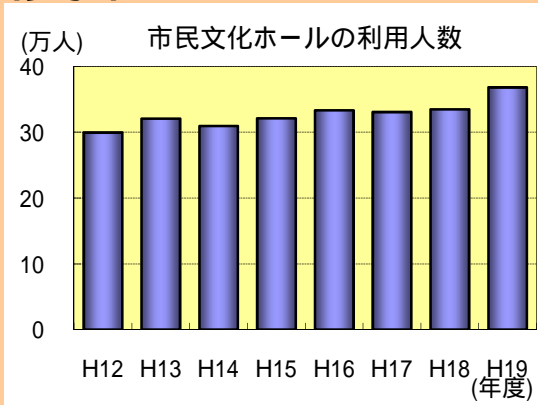
市民の文化活動、発表機会・芸術鑑賞機会の提供など、文化団体等と連携をはかり、市民主体を基本に取り組みをすすめています。

### (2) 今後の取り組み方向

市民の自主的な文化活動を促進するため、引き続き、文化団体等と連携をはかりながら、指導者の育成や新しい分野への取り組みをすすめるとともに、子どもの文化芸術体験活動を推進するため、芸術文化性の高い鑑賞機会の提供等に取り組めます。

また、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、鑑賞する場として、市民ギャラリーの整備をすすめます。

【参考1】



資料:財)帯広市文化スポーツ振興財団

【参考2】

< 市民意向調査 (H20調査) による市民満足度・重要度等 >

前回 (H19調査) との比較			市民意向調査50項目の相対順位		
項目	満足度	重要度	上位	重要度	下位
音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること	やや上昇	上昇			

【説明】

埋蔵文化財センター

市内緑ヶ丘公園内の百年記念館に保存していた埋蔵文化財は、市職員住宅(市内西23条南4丁目)を改修・整備した埋蔵文化財センターに移しました。出土品約80万点を収蔵しており、玄関には大正遺跡群の土器や石器を展示するなど最近の出土品を速報的に紹介しているほか、土器復元の一連の作業が解説付きで見学できます。

史跡標示板

帯広市では、地域の貴重な歴史的・文化的遺産などの史跡に、その歴史や概要などを記した標示板を設置しています。現在、十勝

## 第7節 スポーツ

### (基本方向)

スポーツをとおして、市民の心と体の調和の取れた健康づくりをめざし、誰もが参加できる生涯スポーツの振興をはかります。

### 総合的な評価



概ね

成果を測る基本指標は、「スポーツ教室・講習会の参加者数」は前年と比べて減少しているものの、基準値より改善しています。市民意向調査（「スポーツ活動などに参加する機会があること」）では、満足度は前年と比べ変化はありません。

施策の実施状況は、帯広の森運動施設の整備や各種スポーツ教室の開催など、市民がスポーツ活動に参加する機会の充実をはじめ、競技力向上や指導者育成に関する講座・講演会などの計画的な実施など概ね順調に推移しており、全体としても「概ね順調」となっています。

市民が、自らの健康保持や体力づくりなどを目的に、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめる環境づくりのため、優れた指導者の育成やスポーツ情報の提供等のほか、多様化するスポーツ需要に対応できる地域スポーツクラブの育成等に取り組む必要があります。

また、現在整備している屋内スピードスケート場をはじめ、各施設の利用増進策を講じることが重要です。

### (1) 政策の実施状況

#### 成果を測る基本指標

未達成	目標に近づいていない	目標に向かっている	ほぼ達成	達成	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
スポーツ教室・講習会の参加者数【補助指標】	人	32,084 (H15)	41,901	35,677 (目標:増加)	(目標:増加)

下降	やや下降	変化なし	やや上昇	上昇	
指標	単位	基準値 (基準年)	H18実績値	H19実績値 (H19目標値)	(H21目標値)
「スポーツ活動などに参加する機会があること」の満足度	%	36.5 (H16調査)	36.3	35.7 (目標:上昇)	(目標:上昇)

#### 施策の実施状況

遅れ	やや遅れ	概ね順調	順調	
施策名	評価	平成19年度の実績		
生涯スポーツ活動の推進		スポーツ教室・講習会の開催数(58回)、指導者の講習会・研修会開催数(2回)、競技力育成選手強化事業参加団体数(22団体)、少年団指導者認定講習会の開催数(2回)、ホームページの項目数(4項目)、スポーツ・レクリエーションの事業数(1事業)、地域スポーツクラブの数(2団体)		
競技スポーツの振興		大会開催数(26大会)、日韓競技大会開催種目数(3種目)、スケートキングダム開催回数(1回)、合宿誘致団体数(141団体)		
スポーツ施設の充実*		小学校の開放校数(26校)、中学校の開放校数(3校)、帯広の森スピードスケート場整備(本体工事)		

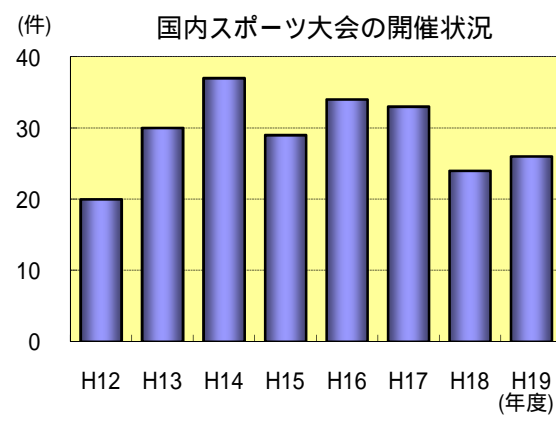
#### 市民協働の取り組み状況

平成18年度から10ヶ所のパークゴルフ場において市民協働による管理運営を進めているほか、地域住民が主体となって運営する総合型地域スポーツクラブの設立支援などの取り組みをすすめています。

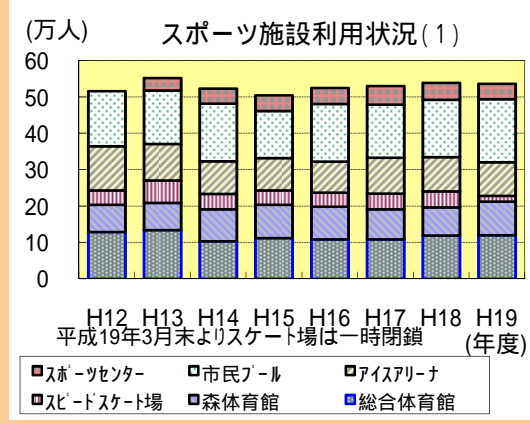
(2) 今後の取り組み方向

スポーツ教室やスポーツ大会の誘致など、スポーツ団体との連携を深めながら、スポーツ振興事業に取り組むとともに、(仮称)新帯広の森屋内スピードスケート場の整備や帯広の森の体育施設の利活用促進をはかります。

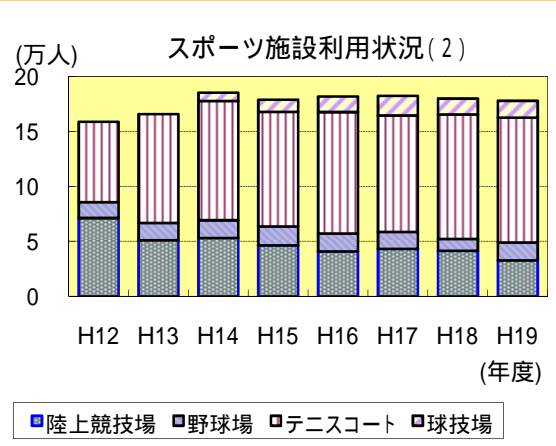
【参考1】



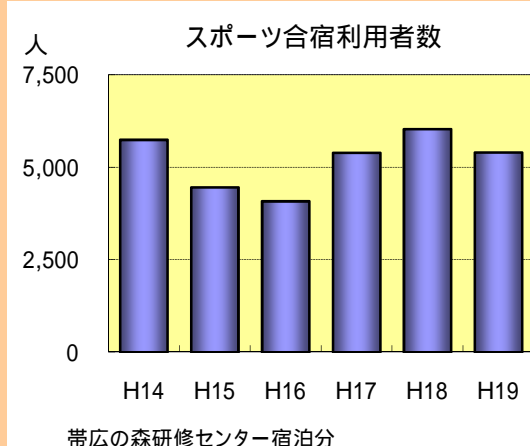
資料:市スポーツ課



資料:財)帯広市文化スポーツ振興財団



資料:財)帯広市文化スポーツ振興財団



資料:市スポーツ課

【参考2】

< 市民意向調査(H20調査)による市民満足度・重要度等 >

項目	前回(H19調査)との比較		市民意向調査50項目の相対順位																
	満足度	重要度																	
スポーツ活動などに参加する機会があること	変化なし	変化なし	<table border="1"> <tr> <td>上位</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>足場</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下位</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	上位				満足				足場				下位			
上位																			
満足																			
足場																			
下位																			

【説明】

スケートキングダム  
帯広市では、国内トップクラスの競技者によるスケート教室を「スケートキングダム」と称して開催しています。

総合型地域スポーツクラブ  
総合型地域スポーツクラブとは、気軽に、自主的に「スポーツ・健康・文化」活動に親しめることを目指して、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブです。光南小学校地区の「清柳スポーツクラブ」などがあります。

## 5 教育に関する学識経験者の意見

未来を担う子どもたちの育成をはじめ、市民一人ひとりが生き生きと活躍する生涯学習社会を推進する教育行政は、非常に重要な政策である。しかしながら、急速に変化を続ける現在の社会環境下では、教育も多様化し、様々な課題への対応が求められ、おおいに困難さも感じるところである。

今回の教員委員会の点検・評価は、法に基づくものであり、市の教育行政の基本方向に沿った事務が適正に執行されているかどうかを、教育委員会自らが点検及び評価を行い、市民の皆さんに対し、意義や成果といったものを、公表し説明することは重要なことである。

平成19年度の教育委員会の活動状況では、教育委員会会議が年15回開催され、55件の案件の審議や報告など59件の案件を議論したほか、今後の教育行政の執行に必要な課題研究協議会も6回開催されている。また、研修会等への参加も活発である。

平成20年度の点検・評価に関する報告書の印象としては、教員委員会側の点検・評価であるが、より一層の教育の充実を図るためには、教員委員会と実際の教育が行われる学校や市民の皆さんがより密接な連携の下に、具体的な取組状況とその成果、保護者や地域の方々との関りや意識など、様々な情報を共有していくことが必要と考える。

今後とも、その審議状況についてより公開性を高め、市民の目線に立ちながら、わかりやすく帯広市の教育行政について伝えていくことが求められるものである。

第五期帯広市総合計画における教育関係施策の評価では、全政策が「順調」及び「概ね順調」に推移しているところであると判断するが、教育関係の評価は、必ずしも数字に表れない部分が多いものであることを意識する必要がある。

評価の基になる指標の設定にあたっては、広く市民意向調査を実施し、その市民の満足度をもって評価しているところは第三者の視点からの評価にもつながり非常に有効であると考ええる。

また、数値目標を掲げるにあたっては、簡単に達成できる目標を避けるとともに、具体的な数値目標が望まれるところであり、目標の達成後の工夫も必要になるところである。

この評価制度のさらなる改善を望むところである。

最後に、こうした評価は、評価自体が重要なわけではなく、今回の点検・評価を通し、その結果を今後の教育行政に反映させていくことが重要となるものである。

また、多くの市民が関心を寄せている帯広市の子どもたちの学力向上策、いじめや不登校をなくすための方策、高齢化社会での多様化・高度化する生涯学習への対応策など、教育の目標課題を、長期や短期、あるいはテーマ別に設定するなどし、評価が加えられればより市民の皆さんにとって身近なものとなるのではないかと考えている。

次年度以降の点検・評価の手法については、実効性のあるものとするため、さらに改善を加え、帯広市教育行政の充実につなげていくことを強く期待するものである。

帯広畜産大学学長 長澤 秀行